平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動　実施報告書

主催団体　亀が森地元有志の会
実施日時　平成 29 年 4 月 16 日(日)10:00～21:00
開催場所　河北地区亀ヶ森公園・神社(宮城県石巻市)

①実施の内容

・プレーカー１台が出動し、プレーリーダーとして塩田大介（なおたろう）さんにお越しいただき、亀が森冒険遊び場を開催しました。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

今回のプレーパーク開催にあたり、チラシを作成（８００部）し、近隣小学校・幼稚園・保育所、また地域の商店に掲示してもらうなどで配布。遠方の方にはフェイスブックに情報を掲載して告知しました。

参加者は、地域の小学生４，５名と乳幼児とその保護者１５名前後でした。

③プレーカー活動を終えて･･･

いつも協力いただきありがとうございます。

この日は公園のさくらが満開で、花見気分で楽しく過ごせました。気温も高いことから早速プールを出して水遊びを楽しむ様子もありました。

水遊びのほかにも、簡単な木工作やシャボン玉、アリジゴク探しなど子ども達は存分に遊んでいました。

一方で、小さい子を連れた親子が多かったことから常連の小学生には少し居心地が悪くなったようで、「つまらない」と帰ってしまうことがありました。

親子連れの憩いの場と、小中学生が思いっきり遊べる場所をどのように両立させるか、課題を見つけた回になりました。今後ともプレーリーダーの協力のもと解決に取り組みたいと思います。

【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】http://bouken-asobiba.org

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動　実施報告書

主催団体　亀が森地元有志の会
実施日時　平成 29 年 5 月 21 日(日)10:00～21:00
開催場所　河北地区亀ヶ森公園・神社(宮城県石巻市)

①実施の内容

・プレーカー１台が出動し、プレーリーダーとして廣川和紀（かずき）さんと塩田大介（なおたろう）さんにお越しいただき、亀が森冒険遊び場を開催しました。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

今回のプレーパーク開催にあたり、チラシを作成（８００部）し、近隣小学校・幼稚園・保育所、また地域の商店に掲示してもらうなどで配布。遠方の方にはフェイスブックに情報を掲載して告知しました。

参加者は、地域の小学生６名と、乳幼児・その保護者１８名、のべ２４名でした。

③プレーカー活動を終えて･･･

いつも協力いただきありがとうございます。

この日はまだ5月ながら気温が高く夏日になりました。熱中症予防もかねてプールを出して水遊びを楽しみました。（常連の子ども達はそれを予想して水着でくる子もいました。）

水道の調子が悪くうまく水がためられずにいたところ、子ども達がバケツリレーに協力してくれて、すぐにたっぷりの水がためられました。アクシデントがかえって良い結果になりました。

今回は、常連の子のお父さんが来てくれて一緒にバンモックを作ってくれたり、保護者のお母さんが次回からの準備を手伝いを申し出てくれて新しいつながりができました。

【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】http://bouken-asobiba.org

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動 実施報告書

主催団体 ロッツ株式会社
実施日時 平成 29 年 6 月 11 日(日)9:00～16:00
開催場所 玉乃湯(岩手県陸前高田市)

①実施の内容

・プレーカー1 台が出動し、プレーリーダーとして神林さんにお越しいただいた。
・玉乃湯旧館の駐車場にて行われ、子供たちは木材や段ボールなどを自由に使って思うままに創作していた。
・トランポリンを置いてもらい、自由に遊べるようにしていただいた
・火を使い、べっこう飴を作る遊びも行っていただいた

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

今回の玉乃湯一周年祭の開催にあたり、チラシを作成（150 部）し、近隣保育所や公民館、コミュニティーセンター、市役所や観光物産協会などに配布。また、お客様がたくさん来る「あばっせ高田」や「集いの岡商店街」などにチラシの掲示を依頼した。当館でも、入浴客へ積極的に配布を行った。その他にも、SNS で頻繁に告知を行った。

当日は、陸前高田市内外で多くのイベントがあり、お客が分散されたようにも思えたが、たくさんのお客様にお越しいただき大盛況であった。マスコットキャラクターのゆめちゃんも来ており、子供の遊び場は、楽しそうに遊ぶ子供たちの笑い声に溢れていた。

③講座を終えて･･･(感想等)

来ていただいて本当に良かったと感謝しています。子供が好きそうな遊び道具をたくさんお持ちいただき、子供たちが自然の中で遊んでもらえたことは、子供たちにとっても良い刺激になったのではないかと思います。特に、べっこう飴づくりは、普段できない体験で大変喜んでいたように見えました。また、当日来ていただいた神林さんと遠藤さんの雰囲気もよく、子供たちがとても懐いていたのも、子供たちが楽しめた要因ではないかと思います。楽しそうに走り回り、はしゃぐ子供たちの笑顔は見ていてこっちも楽しくなりました。今後も、ぜひお越しいただきたいと思いました。

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動　実施報告書

主催団体　子どもの遊びを場考える会@米川
実施日時　平成 29 年 6 月 18 日(日)9:00～12:00
開催場所　米川公民館(宮城県登米市)

①実施の内容

・プレーカー1 台が出動し、プレーリーダーとして遠藤みゆさんにお越しいただいた。
・地元の森林組合さんのご協力のもと、地元の木を使い、丸太切り体験や本棚作りをした
・廃材などを使い、それぞれ釘やのこぎりなどで自由に工作した

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

今回のプレーパーク開催にあたり、チラシを作成（120 部）し、近隣小学校・保育所などに配布。その他にも、地元の子育てイベントサイトにも告知してもらった。
小学生が多く集まるかと予想していたのですが、意外と未就学児の方が多かった。

③講座を終えて･･･(感想等)

今回は、地元の森林組合さんにも協力を頂きました。森林が多い土地にもかかわらず、普段あまり木に馴染みのない子供達です。そのせいか、小学生の子供さんは、木で遊んで楽しいのかな…。という意見もあったようです。
しかし、今回やってみて、楽しい！もっとやりたい！熱中した！などの意見を頂き、子ども達の遊び方を考える良い機会になりました。
午後から部活という中学生に出会い、午前中お手伝いして！と誘ったらお友達を連れてきてくれました。
これから、こんな風に少しずつでも集まってきてくれたら嬉しいなぁ。と思いました。

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動　実施報告書

主催団体　亀が森地元有志の会
実施日時　平成 29 年 6 月 18 日(日)10:00～17:00
開催場所　河北地区亀ヶ森公園・神社(宮城県石巻市)

①実施の内容

・プレーカー１台が出動し、プレーリーダーとして塩田大介さんと廣川和紀さんにお越しいただいた。
・プレーリーダーの見守りの中、子ども達はザリガニ・おたまじゃくしを捕まえて遊んだり、山登りや昆虫採集、たき火を使った料理など自由に取り組んだ。
・はじめてくる親子連れが複数訪れ、火を使ってべっこうアメをつくったり、焼きビー玉づくりなどに挑戦した。普段できない遊びに驚きつつも楽しんでいた。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

今回のプレーパーク開催にあたり、チラシを作成（800 部）し、近隣小学校・幼稚園・保育所、また地域の商店に掲示してもらうなどで配布。遠方の方にはフェイスブックに情報を掲載して告知した。

常連の近所の子ども達に加えて、フェイスブックを見て隣の登米市や市内の遠方などから訪れた親子連れが３組いた。

③プレーカー活動を終えて･･･

いつも協力いただきありがとうございます。

この日は親子連れが多く、初めて来た大人の方に活動の主旨を紹介したり、逆に地域の遊び場が少ない状況について話を伺ったりする機会が持てました。やはりご近所に子どもが遊べる場がないと悩んでいる親御さんは多いようで、遊び場のニーズが確かにあることが感じられました。

外遊びに力を入れている親御さんにとっても冒険遊び場というのは驚きのようで、火を炊いたり、それを使ってべっこう飴を作ったりを子どもたち自身がやっていること、大人は禁止せずに見守っていることなどは意外だったようでした。

【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】http://bouken-asobiba.org

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動　実施報告書

主催団体　NPO 法人きらりんきっず
実施日時　平成29年7月15日(土)10:00～15:00
開催場所　高田大隅つどいの丘商店街

①実施の内容

プレーワーカー（かんぺーちゃん）の視点での遊び場づくり
★ 子育て情報交換の場
★ 親子が成長し合い、お互いを大切に思う場
★ スタッフ、ボランティア、お友達、地域の方々が集いやすい遊び場づくり
スタッフも震災に遭いながらも、こんなときだからこそおやこの広場が必要だと考えて、４月 14 日陸前高田第一中学校図書室をお借りして再開したきらりんきっず。今後はより質の向上をふくめた子育ての情報交換やお互いの近況を報告し、過ごす場として活動を続けていきたいと思っています。ただ、現在の仮設商店街は今年～来年で移動しなければならない状況でその後の新たな場所での活動も含めて子どもの環境づくりをご協力願いたいです。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

チラシ・Facebook で告知

乳幼児から小学校低学年の子どもと保護者、地域の方が参加

③プレーカー活動を終えて･･･

　商店街が人であふれるほど、多くの子どもと地域の大人が集まりました。
　震災が起こり、子どもが集まる機会も場所も減っている陸前高田市。
　子どもが地域の方々と一緒にいることの楽しさを感じられる時間になったと思います。
　これからも、人と人の繋がりや、地域の宝である子どもの子育てをお互い様の気持ちが生まれる温かい関係ができる場として、きらりんきっずは活動していきたいと思いました。

【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】http://bouken-asobiba.org

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動　実施報告書

主催団体　亀が森地元有志の会
実施日時　平成 29 年 7 月 16 日(日)10:00～17:00
開催場所　河北地区亀ヶ森公園・神社(宮城県石巻市)

①実施の内容

・プレーカー１台が出動し、プレーリーダーとして塩田大介さん、須永さんにお越しいただいた。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

今回のプレーパーク開催にあたり、チラシを作成（800 部）し、近隣小学校・幼稚園・保育所、また地域の商店に掲示してもらうなどで配布。遠方の方にはフェイスブックに情報を掲載して告知した。

天候があまり良くなかったこと、三連休の中日だったこともあり、子ども達が数名にとどまった。

③プレーカー活動を終えて･･･

いつも協力いただきありがとうございます。

今回は参加した子ども達は少なかったものの、最近よく遊びに来るようになった兄妹３人組が準備中にもうやってきて、準備をせかすほどでした。午後には出かける予定だそうで、午前中で帰ってしまいましたが、まだ遊びたいとごねる弟をお兄ちゃんが引っ張って帰る一幕もあり、うれしく思いました。

気温はあまり高くありませんでしたがリクエストの多い簡易プールを出し、子どもも大人も満喫しました。

また次回もよろしくお願いします。

【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】http://bouken-asobiba.org

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動 実施報告書

主催団体　一般社団法人かもみーる
実施日時　平成29年7月16日(日) 10:00～13:30
開催場所　気仙沼駅東コミュニティ広場（宮城県気仙沼市）

①実施の内容

当法人が共催として開催した「気仙沼えきまえマルシェ」（主催：気仙沼駅前通り商和会）内での遊び場の提供を行った。

会場の公園内の一角をプレーカースペースとして開放し、遊び道具やイス・テーブルの配置、手作りタープで日陰を作るなどを行い、マルシェに来場した親が休憩しながら、子どもが自由に遊んで過ごせるような環境を意識した。

また、同日は朝から曇天が続き時折小雨が降るような天候だった。１３時過ぎから本格的な降雨があり、１４時３０分までを予定していたが１３時３０分に繰り上げ撤収した。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

＜告知の方法＞

「気仙沼えきまえマルシェ」チラシ内へ実施のお知らせについて掲載（チラシ配布範囲：気仙沼市内）、facebook を活用した呼びかけ、新聞広告の掲載（広告掲載誌：三陸新報）

＜参加者の構成＞

気仙沼えきまえマルシェへ来場した親子連れ（未就学児・小学生）など

③プレーカー活動を終えて･･･

当日は隣接する市営気仙沼駅前住宅からの来場が多く（後日談：この市営住宅へは他の地区より未就学児を抱えた親子が多く入居していたとのこと）、たくさんの親子連れに来場していただき、スペースで過ごしてもらうことができた。

従来市営駐車場だったところが公園に整備され、その工事が６月末日までかかったことにより、どのような環境で遊び場を提供できるかギリギリまでわからない不安があった。しかし、敷いたばかりの砂利を使って即席砂場ができたり、公園として未整備の箇所を子供たちとで工夫しブランコができたりと、たくさんの気付きがあった。

【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】http://bouken-asobba.org

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動 実施報告書

主催団体 ウミネコJAM実行員会
実施日時 平成29年7月23日(日)10:00～19:00
開催場所 船越公園(岩手県下閉伊郡山田町)

①実施の内容

・プレーカー１台が出動し、プレーリーダーとして遠藤みゆさんにお越しいただいた。
・雨天のため、テント下でお絵かきや工作を実施した。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

ウミネコＪＡＭという音楽野外フェスに来場される親子連れ対象に、同イベントに『キッズエリア』があること、一般社団法人プレーワーカーズ様にお越し頂くことを、フライヤー及びインターネット上で情報拡散した。来場したお子さんはほぼこの『キッズエリア』を利用していた様子である。

③講座を終えて･･･(感想等)

・キッズエリアで安心して子どもを遊ばせることができるので、親御さんはより音楽イベントを楽しむことができる。子どもだけでなく大人もイベントに対する満足感が高くなる。

・来場したお子さんはほぼ『キッズエリア』を利用しており、その必要性、重要さが分かった。『キッズエリア』で遊ぶ子どもたちはいきいきとしており、楽しい時間を過ごしていた。

【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】http://bouken-asobiba.org

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動　実施報告書

主催団体　NPO法人パクト
実施日時　平成 29 年 7 月 23 日(日) 10:00～16:00
開催場所　みちくさハウス(岩手県陸前高田市)

①実施の内容

イベント当日にプレーカー1 台が出動し、プレーリーダーとして神林さんにお越しいただきました。
　当日は雨天のため、古民家の中での活動がメインとなり、和室でレゴブロックなどのおもちゃを使って、子どもたちが半日思い思いに過ごしました。
　晴れ間が見えた午後には、庭先で風船を的にして水鉄砲遊びをしたり、シャボン玉で遊んだりと、屋内外で様々な遊びが展開されていました。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

　今回のイベント開催にあたり、チラシを作成（約 300 部）し、近隣小学校・保育所などに配布。その他にも、地元紙に事前の告知記事を掲載していただき、当日も取材を受けました。
　近くの小学校で別のイベントが重なったこともあり、参加者は多くはありませんでしたが、参加した子どもは未就学児から小学校高学年まで、それぞれ好きな遊びに熱中していた様子でした。保護者の方も数名来られ、古民家の中をご覧になったり、子どもが遊ぶ様子を見守っていらっしゃいました。

③講座を終えて･･･(感想等)

　イベントにプレーワーカーの神林さんがお越しくださったおかげで、参加する子どもたちがのびのびと過ごしながら濃密な遊びの時間を楽しむことができたのではないかと思います。
　プレオープンということで、私たちスタッフも少なからず緊張してイベント当日を迎えたのですが、神林さんが日常的な雰囲気で子どもたちと笑っている姿が心強く安心してイベントの運営を行うことができました。
　子どもへの関わり方、遊びに対する姿勢など、私たちスタッフが学ばせていただくことも多くあり、活動後の振り返りでも、多くの貴重なご意見をいただけたことがありがたかったです。

【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】http://bouken-asobiba.org

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動　実施報告書

主催団体　小泉地区子ども会育成会
実施日時　平成29年　7月23日(日)14:00～21:00
開催場所　小泉町区振興会館(気仙沼市本吉町外尾)

①実施の内容

○プレーカー（あそぶーぶー）の備品を活用して
　・木工作、プール、テーブルホッケー、箱台車、竹馬、穴掘り、たき火　等
○子ども会育成会で
　・カレー作り、焼きそば、スーパーボールすくい、花火　等

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

○小泉小学校・小泉幼稚園へのチラシ（小泉中学校は津谷中学校と合併した）
○各戸への回覧板

③プレーカー活動を終えて･･･

○サポートを続けてきた北海道大学坪内氏より
「イベントに関しては、おかげさまで盛況な会にすることができ、大変嬉しく思っております。昨日直太朗さんとも帰途移動中に話していたのですが、今後も定期的に開催していき、単発のイベント会場としてではなく、日常的な居場所として緑地帯が活用されていくことができればと考えております。今後そのためのサポート等お願いすることもあろうかと思います。その際はぜひお力添えいただければ幸甚です。また、個人的にも、お二人の遊び場でのふるまいがとても勉強になりました(率先して何かを先導するのではなく、何気ないタイミングで子どもの遊びをアシストしているようにみえました)。」

○小泉イケてるおやずの会阿部氏より
「ここに子どもがスコップで穴を掘ったことは画期的なことだ。これだけでも今回のイベントに意味があった。」

○かつて「くりの木ひろば」に来ていた子どもと大人のほとんど全てが参加し、そしてボランティアのスタッフたちも多数が参加していた。防潮堤の問題で一度は分断された小泉が、再びひとつになるきっかけに子どもの遊び場がなれれば、遊び場づくり冥利に尽きるが、今後どうなっていくか見続けていきたい。（須永）

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動 実施報告書

主催団体　子育てクラブこっこらぼ
実施日時　平成 29 年 7 月 30 日(日曜) 10:00～15:00
開催場所　大原市民センター（岩手県一関市）

①実施の内容

一般社団法人プレーワーカーズのご協力をいただき、「冒険遊び場１日プレーパーク in 大原」という事業名で、実施地域(一関大東町大原)では初となる１日プレーパークを開催しました。当日はプレーカー1 台の出動、プレーワーカーとして神林俊一様と廣川和紀様の２名にお越しいただきました。午前 10 時から午後３時までの日程で行い、子ども 16 名、大人 15 名の計 31 名の参加でした。

１日プレーパークの開催に先立ち、７月３日(月)に事前説明を兼ねた研修会を行い、プレーパークの説明と「地域で寄りそう子どもの居場所」というテーマで、講師に神林俊一様を迎えて研修を行いました。研修には 11 名が参加し、事前に丁寧な説明を聞いていた効果がみられプレーパーク当日は落ち着いて子ども達と関わることができました。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

今回のプレーパーク及び事前説明を兼ねた研修会の開催にあたり、チラシを作成し、大東町内の市民センター・保育所・放課後子ども教室・子育てサークルなどに配布したほか、フェイスブックの専用ページにも広告を掲載し PR しました。

当日は他のイベントと重なったこともありましたが、初開催ながら子ども 16 名、大人 15 名の計 31 名の参加者でした。参加者の構成は、乳幼児とその保護者(役員含む)、地域住民などです。

③講座を終えて･･･(感想等)

初開催ということで、役員もプレーパークは初めて体験するという人が多いなか、プレーワーカーのリードで大きな事故もなく無事に実施することができました。事前の説明を聞いていて頭には入っていたものの、実際に現場で体験をして初めて理解に結びつく「気付き」が多々あったように思います。子どものやろうとしている事を観察し、子どもの邪魔をしないように気をつけることの難しさがありました。プレーワーカーから「ほどほどに楽しみながら注意深く子どもの観察をする」という助言をいただいています。

今回限りで終わりではなく、また開催したいという声が聞かれたため、次に向けて頑張りたいと思います。

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動 実施報告書

主催団体 藤源寺 ヤマワラス・プロジェクト
実施日時 平成 29 年8月7日(月)09:00～16:00
開催場所 藤源寺(岩手県一関市藤沢町保呂羽字上野平132)

①実施の内容

・プレーカー１台が出動し、プレーリーダーとして神林さんにお越しいただいた。
・「ぼうけん遊び寺」と称して行いました。
・本堂の近くにある小屋（元々豚や牛を扱い現在は休止）を開放して、子どもたちと共にひみつ基地づくりや木工作活動を行い、遊び場づくりを始める。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

今回のプレーパーク開催にあたり、チラシを作成（700 部）し、近隣小学校・幼稚園・保育所などに配布。その他コンビニ等へのポスター掲示、WEB 上では主にフェイスブックを使って告知を行いました。

台風が接近していて雨が振り天候に恵まれなかったが、近隣からも SNS で知った遠方からの参加者もあり、この日は４０人程度の参加者があった。

③講座を終えて･･･(感想等)

小屋を子どもたちに開放するだけで果たして楽しいのだろうか？初めはそう思っていたが、子ども達はみるみるうちに大工さんのようにトンテンカンテン作業しだして、ブランコや２階建ての部屋をつくるなど、子どもの創造性・やる気に驚かされた。ここに来る子どもたちは、震災以降内陸に避難してきた親子が多く、この日も関わり方が難しい子どもたちが来ていたが、遊び場での様子はとても活き活きとしていた。

遊び寺は避難者も現地住民も関係なくこれる雰囲気づくりを守りながら活動してきたが、今日はまさにそうした穏やかな１日を迎えられたと思う。

【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】http://bouken-asobiba.org

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動 実施報告書

主催団体「藤源寺 ヤマワラス・プロジェクト」
実施日時 平成 29 年 8 月 8 日（火）10:00～16:00
開催場所 藤源寺（岩手県一関市藤沢町保呂羽字上野平132）

①実施の内容

・プレーカー１台が出動し、プレーリーダーとして神林さんにお越しいただいた。
・「ぼうけん遊び寺」と称して行いました。
・境内と本堂などすべてを開放して遊びました。竹を切ってながしそうめん、焚き火、べっこうあめ、ひみつ基地作り、スラックライン、座布団崩しetc…ありとあらゆるもので遊びました。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

今回のプレーパーク開催にあたり、チラシを作成（700 部）し、近隣小学校・幼稚園・保育所などに配布。その他コンビニ等へのポスター掲示、WEB 上では主にフェイスブックを使って告知を行いました。

台風が接近していて雨が振り天候に恵まれなかったが、近隣からも SNS で知った遠方からの参加者もあり、この日は 40 人程度の参加者があった。

③講座を終えて･･･（感想等）

子どもたちはお寺の境内という非日常的な環境を愉しんでいたようでした。また半数の子どもたちの保護者は参加しておらずのびのび遊んでいた。参加された保護者の方も、プレーワーカーさんの「こどもへの接し方が、とても参考になった」と言っていました。また、お寺という環境で遊ばせるということに保護者の方もある種の安心感と、好奇心を持ってくれたようでした。連日に渡り開催したことで、１日では得られない充実感がありました。子どもだけでなく主催する私たちも、せかせかするのではなく、のんびりと関わることができたのが良かったです。ある５歳の子が「明日もここに来れますように、神様におねがいした！」といってくれて、泣けました。

【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】http://bouken-asobiba.org

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動 実施報告書

主催団体　亀が森地元有志の会
実施日時　平成 29 年 8 月 20 日(日)10:00～17:00
開催場所　河北地区亀ヶ森公園・神社(宮城県石巻市)

①実施の内容

・プレーカー１台が出動し、プレーリーダーとして塩田大介さんとにお越しいただいた。
・悪天候のため、また夏休み前にチラシ配布が出来なかったことから参加者が少なかったが、自然を活かして昆虫採集（セミやコオロギ、ミミズやチョウなど）したり、たき火で料理をつくったりして過ごした。夕方には、中学生の常連の子ども達が集まりバドミントンやおやつを手作りしながら、夏休みの生活や学校のことなどおしゃべりしていった。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

今回のプレーパーク開催にあたり、チラシを作成（２００部）した。いつもは近隣小学校などに配布してもらうが今回は夏休みのためチラシが配布できなかった。地域の商店とフェイスブックに情報を掲載して告知したほか、前日に開催された「飯野川商店街歩行者天国」に参加して写真展示会を行った。その際に開催の告知も行った。

結果、「歩行者天国」で会った親子が遊びに来てくれた。参加者は子ども７名・大人２名と少なかったが、充実した遊びの時間を過ごせた。

③プレーカー活動を終えて・・・

いつも協力いただきありがとうございます。

この日は悪天候と告知のミスや近隣の行事と重なったこともあり、参加者が少数にとどまりました。その分、参加者一人一人とゆっくり向き合う時間が取れ、遊びを満喫できたようです。昼過ぎになり、小さい子連れの親子が帰ったころに、中学生の女の子が来て言いました。「小さい子がいないとゆっくりおしゃべり出来ていいね。」

小さい子が来るとどうしてもそちらが優先になってしまうため、スタッフとおしゃべりしたくても出来ない、ということのようです。大人としては、小さい子の面倒を大きい子が見てほしいなーと期待しますが、それは大人の勝手だと反省します。

小さい子もこうした子も一緒に楽しめるようにスタッフの拡充が優先課題だと感じました。

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動 実施報告書

主催団体　亀が森地元有志の会
実施日時　平成 29 年 9 月 17 日(日)10:00～17:00
開催場所　河北地区亀ヶ森公園・神社(宮城県石巻市)

①実施の内容

・プレーリーダーとして廣川和紀（かずき）さん・塩田大介（なおたろう）さんにお越しいただき、亀が森冒険遊び場を開催しました。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

今回のプレーパーク開催にあたり、チラシを作成（８００部）し、近隣小学校・幼稚園・保育所、また地域の商店に掲示してもらうなどで配布。遠方の方にはフェイスブックに情報を掲載して告知しました。

③プレーカー活動を終えて・・・

いつも協力いただきありがとうございます。

今回、天候もまずまずでしたが、三連休の中日ということもあり、参加者が少数に留まりました。

午前中に来た親子連れは、ハロウィンの衣装を作ったり、焚き火で枯れ木を燃やしたり、楽しく過ごしていきました。

夕方には、遊び場の第一回のころからの常連の女の子が遊びに来ました。当初小学一年生だった子ももう中学生になり、「遊ぶ」というより「おしゃべり」をしに来ているようです。遊び場が居場所の一つとなっているようで、うれしく感じました。

【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】http://bouken-asobiba.org

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動　実施報告書

主催団体　亀が森地元有志の会
実施日時　平成 29 年 10 月 15 日(日)10:00～17:00
開催場所　河北地区亀ヶ森公園・神社(宮城県石巻市)

①実施の内容

・プレーリーダーとして廣川和紀（かずき）さん・塩田大介（なおたろう）さんにお越しいただき、亀が森冒険遊び場を開催しました。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

今回のプレーパーク開催にあたり、チラシを作成（８００部）し、近隣小学校・幼稚園・保育所、また地域の商店に掲示してもらうなどで配布。遠方の方にはフェイスブックに情報を掲載して告知しました。

③プレーカー活動を終えて・・・

いつも協力いただきありがとうございます。

今回、例年恒例のハロウィンの時期ということで、たくさんの子どもたちが集まりました。小さい子から小学校高学年の子たちも集まって仮装を楽しみました。仮装のまま、山へ登っていったり、焚き火をしたり、いつもと違う景色が神社に広がりました。

差し入れにいただいたお芋を焼き芋にしたり、焚き火で料理を作ったりも楽しんでいました。

最近流行っているのがナベ蓋を使ったバドミントン。シャトルを打つたびにいい音がしてとても盛り上がりました。

【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】http://bouken-asobiba.org

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動　実施報告書

主催団体　オレンジあそ viva
実施日時　平成29年10月27日(金)～10月31日(火)
開催場所　名取市立下増田小学校南側田んぼ

①実施の内容

稲を刈り取った後の田んぼ（株式会社美田園ファーム所有）を借り、大量の材木とブルーシートと道工具を用意し、誰でも自由に使用できるようにした。また、半切りドラムの炉（朝どり＋楽農村所有）とドラム缶風呂（市議会議員大久保主計さん所有）も借りて配置し、誰でも自由に火を使えるようにした。近所の農家の洞口さんの竹林から竹も切出し（名取二中の生徒が切出し運搬作業）、刈った後の大量の稲藁と、たくさんの藁のロールも放置し、自由に遊べる状態にした。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

〇名取市内の全保育所、小学校、中学校の児童生徒、及び全公民館、児童館へのチラシ配布
〇市内の大学へのボランティア要請
〇名取市立第二中学校の職業体験プログラムとのコラボレーション

③プレーカー活動を終えて・・・

初日10月27日は、名取第二中学校の職業体験で来た生徒たちと、資材搬入作業をしながら遊び場開催。放課後の時間になると小学生たちがたくさん様子を見に来た。
ところが、にぎわいを予想していた最初の週末が、土曜日は台風接近による暴風警報発令でお休み（あらゆる警報発令時、遊び場活動は中止。震災直後から徹底しているルール）、日曜日は警報は出ていなかったものの、雨と風で実質お休み状態。渇いていた田んぼに再び水が張られてしまった。
それでも月曜日、火曜日と、午前中は幼児と保護者が、放課後には小学生が、泥んこの田んぼに遊びに来た。
悪天候にたたられた前半だが、近隣の子どもたちにはインパクトが伝わったであろうから、後半は何が起きるか楽しみだ。

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動 実施報告書

主催団体 オレンジあそ viva
実施日時 平成29年11月1日(水)～11月5日(日)
開催場所 名取市立下増田小学校南側田んぼ

①実施の内容

稲を刈り取った後の田んぼを借り、大量の材木とブルーシートと道工具を用意し、誰でも自由に使用できるようにした。また、半切りドラムの炉とドラム缶風呂も借りて配置し、誰でも自由に火を使えるようにした。近所の農家の竹林から竹も切出し、刈った後の大量の稲藁と、たくさんの藁のロールも放置し、自由に遊べる状態にした。結果たくさんの木の家、藁の家が建ち、たくさんの落とし穴が掘られることになった。小屋を建てている子たちに「泊まりたかったら泊まっていいよ」というと、とても盛り上がり、風が無く寒さが弱かった11月3日には、５軒の小屋に子どもたちが泊まることになった。宿泊の実行に際し、保護者が心配して事前に何人も遊び場を訪れ、私たちと考え方について話をすることになった。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

○名取市内の全保育所、小学校、中学校の児童生徒、及び全公民館、児童館へのチラシ配布
○市内の大学へのボランティア要請
○名取市立第二中学校の職業体験プログラムとのコラボレーション

③プレーカー活動を終えて･･･

今回のプレーパークが、事故無く完了できたことに安心している。

市長、副市長以下、役所の担当、関連職員の面々が現場を訪れたことは、名取市がプレーパークづくりに前向きな状況の現れだろう。

今回は小屋づくりが遊びの中心になったが、次回はプレーパークのまた違う一面を表現できる内容を市民に提示していきたい。

開催に向け多くの個人、団体のご協力をいただいた。

震災で大きな被害を受け、復興の道が続いている名取市の子どもの環境が、震災前より良いものとなっていくよう、今後も市民、行政と協働を続けたい。

【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】http://bouken-asobiba.org

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動　実施報告書

主催団体　亀が森地元有志の会
実施日時　平成 29 年 11 月 19 日(日)10:00～17:00
開催場所　河北地区亀ヶ森公園・神社(宮城県石巻市)

①実施の内容

・プレーカー１台が出動し、プレーリーダーとして塩田大介（なおたろう）さんにお越しいただき、亀が森冒険遊び場を開催しました。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

今回のプレーパーク開催にあたり、チラシを作成（８００部）し、近隣小学校・幼稚園・保育所、また地域の商店に掲示してもらうなどで配布。遠方の方にはフェイスブックに情報を掲載して告知しました。

③プレーカー活動を終えて・・・

いつも協力いただきありがとうございます。

今回は、自然と触れ合う遊びが多くみられました。山へ入ってどんぐりを拾ったり、いちょうの木の下で銀杏を拾ったり、それらを食べてみたり（どんぐりは苦かったり渋かったり）。

小さい子を連れてきたお母さん、銀杏拾いは初めてだし、焼ビー玉も初めてだったそうで、とても楽しそうにしていました。料理も自発的に手伝ってくれて、遊び場に関心をもってくれたようです。

夕方には中学生になった常連の子たちが集まって、バドミントンやなべミントン。ちょっと大人になった彼らには小さい子がいない時間が過ごしやすいようです。

次回もご協力よろしくお願いします

【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】http://bouken-asobiba.org

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動　実施報告書

主催団体　亀が森地元有志の会
実施日時　平成 29 年 12月17 日(日)10:00～17:00
開催場所　河北地区亀ヶ森公園・神社(宮城県石巻市)

①実施の内容

・プレーカー１台が出動し、プレーリーダーとして塩田大介（なおたろう）さん、廣川和記さん（かずき）にお越しいただき、亀が森冒険遊び場を開催しました。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

今回のプレーパーク開催にあたり、チラシを作成（８００部）し、近隣小学校・幼稚園・保育所、また地域の商店に掲示してもらうなどで配布。遠方の方にはフェイスブックに情報を掲載して告知しました。

③プレーカー活動を終えて･･･

いつも協力いただきありがとうございます。

まだ寒い午前中から常連の男の子がやってきました。火に当たりながら、オリジナル料理作りをいつものように取り組んでいました。ちょうど一年前の開催の時も料理してましたが、その時よりちょっと上手になっていたように思います。

午後には子連れのお母さんが遊びに来ました。火を使った遊びや山登りに興味しんしんな様子で楽しんでいたようです。

次回もご協力よろしくお願いします

【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】http://bouken-asobiba.org

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動　実施報告書

主催団体　亀が森地元有志の会
実施日時　平成 30 年 1 月21日(日)10:00～17:00
開催場所　河北地区亀ヶ森公園・神社(宮城県石巻市)

①実施の内容

・プレーカー１台が出動し、プレーリーダーとして塩田大介（なおたろう）さん、廣川和記さん（かずき）にお越しいただき、亀が森冒険遊び場を開催しました。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

今回のプレーパーク開催にあたり、チラシを作成（８００部）し、近隣小学校・幼稚園・保育所、また地域の商店に掲示してもらうなどで配布。遠方の方にはフェイスブックに情報を掲載して告知しました。

③プレーカー活動を終えて･･･

いつも協力いただきありがとうございます。

この日は、午前中から常連の女の子が一人で訪れ、火を囲みながらおしゃべりをして過ごしました。学校のことや趣味のことなど特別なことではありませんが、たわいもない話をしに来れるのが大事だと感じています。

また子ども達から要望の多かった卓球台を、作業台とパネルを利用して作りました。当初、卓球台を寄付していただく話がありましたが保管場所などの問題から断念。片付けも保管も簡単なものを作ることにしていました。次回以降、熱い戦いが繰り広げられることと思います。

次回もご協力よろしくお願いします

【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】http://bouken-asobiba.org

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動　実施報告書

主催団体　面瀬川ふれあい農園運営委員会
実施日時　平成 30 年 1 月 27 日(土) 10:00～16:00
開催場所　面瀬川ふれあい農園(宮城県気仙沼市)

①実施の内容

　地域住民で立ち上げた広場「面瀬川ふれあい農園」を活用し、遊び場を開催。時間内はいつ来ても、いつ帰ってもいい自由来園。広い原っぱ、浅い川、裏山の自然環境と、ボールやスコップや卓球台など遊ぶ道具はありますが、遊び方は子ども次第です。たき火や暖かいストーブ・畳のあるビニールハウスもあります。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

・告知方法
手書きチラシを作成し、付近の小学校・幼稚園に人数分配布。
Facebook にて告知。

・参加者構成
小学生が 60%、乳幼児 20%、保護者 20%。

③プレーカー活動を終えて･･･

　珍しく大雪が降った今年、遊び場当日は広大な銀世界。小学生はかまくら＆雪合戦。乳幼児はソリ遊びに熱中していました。寒くなったら、たき火にあたって、お昼はみんなでお鍋をつつきました。
　今回の遊び場では、昨年完成したばかりの災害公営住宅から遊びに来る子どもと出会いました。荒っぽい言動や遊び方を見ていると、かなりストレスが溜まっているようでした。
震災後から６年（その子にとって人生の半分）を仮設住宅で過ごし、まだこころは落ち着かないのかもしれません。
　そんな子どもも、大人も、居場所になるような場所にしていきたいです。

【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】http://bouken-asobba.org

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動 実施報告書

主催団体 面瀬川ふれあい農園運営委員会
実施日時 平成 30 年 1 月 28 日(日) 10:00～16:00
開催場所 面瀬川ふれあい農園(宮城県)

①実施の内容

地域住民で立ち上げた広場「面瀬川ふれあい農園」を活用し、遊び場を開催。時間内はいつ来ても、いつ帰ってもいい自由来園。広い原っぱ、浅い川、裏山の自然環境と、ボールやスコップや卓球台など遊ぶ道具はありますが、遊び方は子ども次第です。たき火や暖かいストーブ・畳のあるビニールハウスもあります。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

・告知方法
手書きチラシを作成し、付近の小学校・幼稚園に人数分配布。
Facebook にて告知。

・参加者構成
小学生が 60%、乳幼児 20%、保護者 20%。

③プレーカー活動を終えて･･･

雪がありながら、日差しが暖かかったこの日。塾や習い事、卒業式の用意など、小学生は大忙しらしく、「友達が来れないって・・・」という声をしばしば耳にしました。

しかしそんな時だから、新しい出会いがあるもの。ふらりと遊びに来たお兄さんと遊ぶ場面もありました。友達と一緒だとビニールハウスに穴をあけたり、畳を土足で汚したり、やんちゃな子どもが、お兄さん相手だと素直な様子でした。

住民とプレイワーカーの振り返りでは、子どものストレスで施設が壊れることはあっても施設は直せる。子どもの心を受け止められる場所にしよう、と確認できてよかったです。

【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】http://bouken-asobba.org

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動　実施報告書

主催団体　亀が森地元有志の会
実施日時　平成 30 年 2 月 11 日(日)10:00～17:00
開催場所　河北地区亀ヶ森公園・神社(宮城県石巻市)

①実施の内容

・プレーカー１台が出動し、プレーリーダーとして塩田大介（なおたろう）さん、廣川和紀（かずき）さんにお越しいただき、亀が森冒険遊び場を開催した。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

今回のプレーパーク開催にあたり、チラシを作成（８００部）し、近隣小学校・幼稚園・保育所、また地域の商店に掲示してもらうなどで配布。今回から、配布先小学校を増やしました。遠方の方にはフェイスブックに情報を掲載して告知しました。

③プレーカー活動を終えて･･･

いつも協力いただきありがとうございます。

この日も寒さが厳しく子どもの人数が少なかったものの、フェイスブックを見て訪れた父子や通りすがりに訪れた家族連れなどが、裏山を登ったりシャボン玉やミニ卓球台で卓球を楽しんだりして過ごしました。

途中、雨や雪が強く降り出すタイミングもあり遊びが中断するところもありましたが、焚き火があることで暖を取ることができ、差し入れのお野菜を使って温かい料理もできました。火を囲んで過ごす中で、親子連れと遊び環境についてお話したり、常連の子どもと学校などについてお話したりとゆっくり交流する時間も作れました。

またスタッフ同士で話し合い、看板の設置（スタッフの紹介も）、公園の一部を清掃して遊びスペースを広げることなども計画しました。

【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】http://bouken-asobiba.org

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動　実施報告書

主催団体　面瀬川ふれあい農園運営委員会
実施日時　平成 30 年 2 月 24 日(土) 10:00～16:00
開催場所　面瀬川ふれあい農園(宮城県気仙沼市)

①実施の内容

地域住民で立ち上げた広場「面瀬川ふれあい農園」を活用し、遊び場を開催。時間内はいつ来ても、いつ帰ってもいい自由来園。広い原っぱ、浅い川、裏山の自然環境と、ボールやスコップや卓球台など遊ぶ道具はありますが、遊び方は子ども次第です。たき火や暖かいストーブ・畳のあるビニールハウスもあります。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

・告知方法
手書きチラシを作成し、付近の小学校・幼稚園に人数分配布。
Facebook にて告知。

・参加者構成
小学生が 60%、乳幼児 10%、保護 10%。大学生 10%　地元住民 10%

③プレーカー活動を終えて･･･

雪の溶けた面瀬川ふれあい農園で、土曜日は遊具の改造を行いました。地元の住民と、大工が夢の子どもと一緒に、改造＆メンテナンスをしました。大工さんが多い地区なので、手際よく作業が進みます。「すべり台をもっと長くして！」という子どもの声を実現することができました。

また、この地区を活動拠点にして学習支援・居場所づくりをしている大学生が研修のために参加しました。震災直後から定期的に活動しているため、子どもと顔見知りで、一緒に山探検に行ったり、ダイナミックな追いかけっこをしたり、普段よりも遊びの幅が広がっているのを感じました。

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動 実施報告書

主催団体　面瀬川ふれあい農園運営委員会
実施日時　平成 30 年 2 月 25 日(日) 10:00～16:00
開催場所　面瀬川ふれあい農園(宮城県気仙沼市)

①実施の内容

地域住民で立ち上げた広場「面瀬川ふれあい農園」を活用し、遊び場を開催。時間内はいつ来ても、いつ帰ってもいい自由来園。広い原っぱ、浅い川、裏山の自然環境と、ボールやスコップや卓球台など遊ぶ道具はありますが、遊び方は子ども次第です。たき火や暖かいストーブ・畳のあるビニールハウスもあります。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

・告知方法
手書きチラシを作成し、付近の小学校・幼稚園に人数分配布。
Facebook にて告知。

・参加者構成
小学生が 60%、乳幼児 10%、保護 10%。大学生 10%　地元住民 10%

③プレーカー活動を終えて･･･

連続開園の２日目は、じっくり遊ぶ子どもが多いです。ゆったり散歩したり、竹で工作してみたり、マシュマロを焼いてみたり、川の水を汲んでは流したり。そんな中で意外な発見も多く、
「天然のスケートリンク見つけた！」
「川遊びの後の温泉（足湯）サイコー！」
と、ワクワクする感情溢れる表情が何度もみられました。

放課後に遊びに来る子も増えているらしく、子どもの居場所になりつつあります。この日は近くに引っ越してきた親子も遊びに来ました。お母さんは火の番をずっとしてくれて、子どもはのびのび遊んでいました。新しい土地に馴染む、入口になる遊び場になればいいなぁと願うばかりです。

【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】http://bouken-asobba.org

平成 29 年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 助成事業
（特定目的募金活用事業）

プレーカー活動　実施報告書

主催団体　亀が森地元有志の会
実施日時　平成 30 年 3 月 18 日(日)10:00～17:00
開催場所　河北地区亀ヶ森公園・神社(宮城県石巻市)

①実施の内容

・プレーカー１台が出動し、プレーリーダーとして塩田大介（なおたろう）さん、廣川和紀（かずき）さんにお越しいただき、亀が森冒険遊び場を開催した。

②冒険遊び場の告知の方法や参加者の構成

今回のプレーパーク開催にあたり、チラシを作成（８００部）し、近隣小学校・幼稚園・保育所、また地域の商店に掲示してもらうなどで配布。遠方の方にはフェイスブックに情報を掲載して告知しました。

③プレーカー活動を終えて・・・

いつも協力いただきありがとうございます。

この日は春めいた暖かさで、子どもたちもたくさん集まりました。乳幼児～低学年の子どもたちはシャボン玉やなわとび、ビー玉などで遊び、中高生や高学年の子は焚き火で料理をしたりミニ卓球台・バドミントンなどで身体を動かす遊びが多かったようです。

小さい子も多い中で、遊び場の常連の中学生が小さい子の面倒をみてくれて遊び相手になったり、スタッフの仕事（トン汁づくりや草刈りなど）を自発的に手伝ってくれたり、と積極的に動いてくれました。受け身ではなく自ら役割を担ってくれていることが、成長を感じられてうれしく思いました。

また、今回は裏山の一部を開拓するワークショップを行いました。保護者の協力で大幅に作業も進み、今後も協力を得られる見込みです。新しい遊びスペースを広げるとともに活動の協力者も広げられるかもしれません。
今後もご協力お願いいたします。